



奄美医療生協NEWS

お元気ですか

発行者

奄美医療生活協同組合

鹿児島県奄美市名瀬長浜町8-7

電話0997-52-0585

FAX 0997-52-8881



手熟師会



たまり場班

多世代とのつながりを目的に、「夏休み応援団」企画に取り組みました。子ども食堂（どうしゅくわ食堂）、学習支援、手熟師会が連携し多世代との

◆世代や組合員の枠を超えた多様な参加と協同で健康になれるまちづくり

◆あつまる機会を増やしコミュニケーションができる関係づくり

◆秋の生協強化月間を終え、この年間活動方針をもとに新たな取り組みが進められました。

◆あつまる機会を増やしコミュニケーションができる関係づくり

◆秋の生協強化月間を終え、この年間活動方針をもとに新たな取り組みが進められました。

締めくくった月間を目前に 2025年度秋の強化月間までの組合員活動を振り返る

- 2面** 組合員活動紹介
- 3面** 北大島区ウォークイベント
南大島区ウォークイベント
- 4面** ミキと舟焼きづくり
無料低額診療事業案内
- 5面** 奄美医療生協理事長杯グラウンドゴルフ大会案内
地域に寄り添う診療所だより
- 6面** 読者投稿
理事会だより
ゆいちゃんがい



どうしゅくわ食堂



ユープかごしま（生協まつり）

◆I-Tを活用した発信

健康チャレンジ等QRコードからの申し込みが可能になりました。地域の情報発信が始まりました。組合員活動にスマホ教室が広がっています。

◆医療生協の優位点のアピール

行政と連携しサロンでの健康チェック、健康指導、リハビリ指導等、医療生協の健康づくりが定着し、地域の健康づくりに貢献しています。



Toshu

◆生活協同組合間連携

生協まつりへのコープかごしまの参加、協力。親子健康チャレンジへの県生協連の共催等連携が図られています。



ウォークイベント（南）



フリーマーケット（徳）

◆年間計画に沿った健康づくり

健康づくり教室が、年間計画を提示しながら進められました。健康教室はオンラインにより3区で同時に参加できるようになりました。合わせて、各区の要望を取り入れた内容の充実も図られました。

◆支部や班での学習に取り組ま

「COMCOM」や「いつでも元氣」、法人機関紙「お元気ですか」等を使った学習が班・支部で広く取り組まれました。

◆助け合いの活動

活動は継続していますが、組織整備は今後の課題です。

◆全国四課題と組織目標到達

強化月間で支部の取り組みは大きく前進しました。しめくくり月間にむけて事業所の奮闘が必要です。



「方言禁止令」
を振り返って

六〇年前の中学生時代、方言を使うことが禁じられた。就職先で言葉に困らない為だとのこと。金の卵の集団就職の時代だった。そこで、禁じられた方言を使うと「罪」となり、生徒同士の密告で、「罰」は「方言使用者」という札を首につけて過ごすこと。私は勇敢にも態と犯罪者になった覚えがある。それは、納得出来ないことが幾つか胸の内沸騰していたからだ。まず、否定される不快感。一方で鹿児島弁は先生達も平気で使っている。子どもでも感じた差別感。それに尊敬語の多いシマの方言は人間関係を良くし、郷土文化伝承の為に無くしてはいけない。此れ等の理由で、あの「禁止令」に従わなかったのだと、我が心は整理されるようだ。悪法はどの世界でも長くは続かない。生徒達の声を職員会議で届けてくださった心ある教師のお陰様だと思う。有ぎや様りようた！

大和支部 晨原重光

北大島区 中央奄美支部

研修医 医療講話を開催
上手な睡眠は健康づくり

12月9日
(火) 中央
奄美「健康
づくり班」
で、奄美中
央病院で初
期研修に取
り組んでい
る妹尾蓮
(せのおれ
ん) 医師の
健康講話が
行われまし

た。テーマが「睡眠について」で
日頃の悩みなど多くの質問が出さ
れ、丁寧に説明されていました。
睡眠不足は、生活習慣病の罹患率
が高くなる話に驚いていました。
「日頃の生活リズム」を見直す等
の感想も聞かれました。

所属が沖縄協同病院ということ
で、お酒の話で盛り上がりました
が先生はあまり飲めないとの事で
した。趣味が、サーフィンで奄美
大島本島の有名なサーフスポット

はほとんど行かれたとの事です。
充実した研修を取り組んでおられ
る様でした。

班会の楽しみでもあるお茶飲み
懇親では、手作りのお惣菜やハー
ブティで楽しみました。

将来は、麻酔科を目指している
との事です。今後のご活躍に期待
したいと思います。

地域支援部 山下 俊和

南大島区 東方支部

大熱戦！
第6回 東方グラウンド
ゴルフ大会

12月14日(日) 第6回、東方支
部主催のグラウンドゴルフ大会を
住用マンダローブG・G場にて行
いました。今年の参加者は、昨年
よりも多い69名！ホールインワン
も飛び出すなどレベルの高い大会
となりました。グラウンドゴルフ
で汗を流した後は、みんなで懇談
しながらお弁当を頂きました。

昼食後、表彰式を行いました。
結果は、1位 重村昭仁さん、2

徳之島以南区 徳南支部

歴史や文化暮らしの変遷を学ぶ
島のむんがたり講座へ参加

11月30日(日) 徳之島町が実施
している「島のむんがたり講座」
へ徳南支部で参加しました。この
講座は島の歴史や文化、暮らしの
変遷を学び、語り合う(「もの語
り」)講座で、町誌編集室が主催
し、地域住民の世代を超えた交流
と郷土理解を深めることを目的
としています。今回のテーマは
「よりよりかむいじ(亀津)
あるき」で、組合員7名、職員1



名で参加しまし
た。町の生涯学
習センターを出
発し、代官所跡
や古勝森などガ
イドさんの説明
を聞きながら歴
史スポットを歩
いて巡りました。参加者からは
「亀津に住んでいるけど、初めて
来た」などの声も聞かれ、地域の
歴史を知るなど学びの取り組みと
なりました。

地域支援部 伊 加代子



位 沖悦央さ
ん、3位 登島
一弘さんとなり
ました。大会終
了後も練習でも
う1度回る方も
多く、グラウン
ドゴルフ熱の高
さを感じまし
た。3月には、

奄美医療生協理事長杯グラウンド
ゴルフ大会も控えており、この南

大島区からも多数の方が参加する
予定で、熱戦が期待されます。
今回は、あいにくの曇り空でし
たが、楽しく交流することもで
きました。

地域支援部 安江 潤



北大島区ウォークイベント 爽やかな風をつけ あやまる岬公園で開催

11月23日(日) 笠利町あやまる岬公園を会場に、北大島区ウォークイベントが開催されました。イベントには、組合員・職員・職員家族総勢49名が参加しました。

今年のウォークイベントは、グラウンドゴルフも企画に入っていて、グラウンドゴルフへ18名、ウォーキングへ31名が参加しスタートしました。

ウォーキングは、コース案内にウォークイベントクイズも掲載し、親子でクイズを解きながら、また、自然豊かな土盛海岸を散策しながら行われました。爽やかな小春日和の中、上空ではサシバの姿や、コース脇には、越冬前のアサギマダラが飛んでいました。

グラウンドゴルフも気持ちのいい天気の中、交流しながら楽しい健康づくりとなりました。

ウォーキングを終えた待ち時間を利用して、モルックも行われ大

満足のウォークイベントとなりました。
次年度も、楽しい企画を準備して、多くの参加をお待ちしております。



南大島区ウォークイベント 歴史・戦跡を巡り 加計呂麻島で開催！



りを取り入れ、平和学習を兼ねた企画としました。

午前9時に古仁屋港に集合し海上タクシーに乗り込み加計呂麻島へ渡りました。押角集落の役場跡や、島尾ミホさんの実家跡などを散策し呑之浦へ向けて出発。

呑の浦では東方支部に作って頂いた豚汁や弁当などを食べながら特攻艇基地や島尾敏夫文学碑の見学など行いました。

今回、遺跡に詳しい澤 佳男氏(元瀬戸内町議)に案内し

11月23日(日) 南大島区ウォークイベントを行いました。

今年 は、戦後80年を踏まえ歴史・戦跡巡



て頂きました。福崎理事長からも島での集団自決の話もあり、歩きながら学びを深めることができました。参加人数は職員・組合員合わせて24名、古仁屋港で知り合った観光客1名も飛び入り参加して楽しく歩くことができました。

地域支援部 安江 潤



「参加」と「協同」の実践 組合員と職員の交流企画



ミキと
舟焼き
づくり



11月29日
(土) 組合員と職員の交流企画として「ミキと舟焼きづくり」が旧金久分館で開催されました。

この企画

は、奄美で古くから飲まれている「ミキ」も作れる人が少なくなつた等の声が組合員さんから聞かれ、今回企画されました。組合員11名、職員5名が参加し、奄美の伝統食品づくりに挑戦しました。

ミキは「神酒」を由来としており、奄美大島では、8月の豊年祭や、旧暦9月9日の村祭りに合わせて作られたとの事です。近年では祭り事以外にも、年間を通して日常的に飲むようになり、離乳食や夏バテ防止、体力を消耗しているときの栄養補給飲料としても食されています。

奄美の「舟焼き(ふにややく)」は、もち粉、はったい粉、黒糖を混ぜて焼く奄美大島伝統の菓子で、切り口が舟の形に似ていることから名付けられ、各家庭で親し



まれてきた郷土菓子です。ミキは、つくってから1週間ぐらい熟成(発酵)してから飲み頃になるとの事です。企画への参加者からは、「勉強になった。早速つくってみます。職員との交流がよかった」などの感想が聞かれました。奄美の貴重な文化、継承していきたいと思っています。



シャリンバイの実

無料低額診療事業のご案内

無料低額診療とは、生活困窮者のため
無料または低額で診療を行う事業です

このような方はご相談ください

- 保険証がない □コロナ禍で仕事がなく収入がなくなった
- 病気や障害で働けず収入がない □生活費で精一杯 など

相談窓口 奄美中央病院 0997(52)6565



まず相談してみること

Kさんは病気で入院。仕事ができなくなり生活が苦しく入院費も払えない状態でしたが無低診が認められ今は元気に働いています。





奄美医療生活協同組合

理事長杯グラウンドゴルフ大会のご案内



日 時 2026 年 3 月 20 日 (金) **春分の日**
 受付 9 時～9 時 45 分 10:00 スタート

会 場 住用マングローブパークグラウンドゴルフ場 (現地集合)

競 技 1 チーム (組) 5 名で編成します。
 150 名に達し次第締め切ります。

表 彰 個人 1 位から 5 位に賞状及び賞品等

参加費 1,000 円 (当日受付にてお支払い下さい)

参加申し込み

申し込み締め切り 3 月 12 日 (木) 締め切り厳守

所定の申込書にてお申し込みください。

申し込み用紙は、お電話にてお問い合わせください。

参加について

医療生協の組合員さんならどなたでも参加できます。

※組合員加入についてはお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先 北大島区 0997-52-0585 53-5750 (福田、石井、中田)
 南大島区 0997-72-0107 (安江)
 徳之島以南区 0997-83-2131 (伊)



地域に寄り添う結いの診療所 元気に頑張っています

新しくなった徳之島診療所、開院から 6 か月が経過しました。「地域に寄り添った医療介護福祉」が最大の特徴です。まず、新しい地域に定着し、魅力を知らせていく取り組みを基軸として職員が一丸となって頑張っています。(12 月末 記事作成)

同地域での病院の新築移転など医療環境の変化の中、移転前の定期通院患者数の維持、予防接種利用者増、新たな利用者増等、奮闘しています。

地域へのアピール行動

10 月 どんどんまつりパレード参加
 診療所と生協まつりを宣伝しました。
 組合員さんのつながりから診療所のある蔵越地域で
 新班が結成されました。

11 月 診療所敷地内を利用し生協まつり開催
 350 名の来場者で賑わう。新しくなった診療所を見てもらうことにもつながりました。
 診療所内の組合員の家を利用し徳北・徳南支部合同でフリーマーケット開催。
 診療所に設置された組合員の家での活動が広がってきています。



地域での医療講演



月間決起集会



どんどんまつり



生協まつり



フリーマーケット



街角健康チェック

わいちゃんがいく No.66 Toshi

沖縄県民への差別的偏見は、戦時中大変な悲劇をもたらすことにもなった。



1940 年の方言論争。沖縄県の標準語励行運動を巡って、民芸運動家と県当局が激しく対立、沖縄方言の文化的価値と標準語推進の是非が争われました。民芸運動側が方言の文化的価値を主張して県を批判したのに対し、県は県民が標準語を話さないことによる不利益や劣等感の解消を訴えて反論しました。

地域に根づく方言は
私たちの大切な宝物

米軍ヘリパット訓練基地建設反対行動での警備の機動隊から沖縄県民への「土人」発言。

沖縄戦での日本軍による方言の禁止は、沖縄県民をスパイとみなして弾圧する目的で行われました。日本軍は、方言を操る住民が米軍に情報を提供するスパイだと疑い、虐殺する事件も起きました。この背景には、戦前から行われていた「同化教育」による方言の撲滅と標準語の励行、そして沖縄県民に対する差別意識があったと指摘されています。

とんでもない偏見
いまだ消えない差別意識



奄美でも沖縄と同じ標準語励行運動の時代があったが、どちらも今は、方言は大事な文化遺産ととらえている。

奄美の「方言論争」は、ユネスコが 2009 年に奄美語を「消滅の危機にある言語・方言」として指定したことで、その保存と継承の必要性が高まり、島民の間に方言を守るべき文化遺産としてとらえ、島内での使用を増やし継承していくことへの議論や取り組みが広がりました。

まもるべき文化遺産

地域文化はわんきやの財産
わらばーよ方言でゆんたくしよう。(沖縄)



はなそうでい。(奄美)
子どもたちよ方言ではなそう

医療福祉生協の文化は、健康と平和な社会を目指す基盤
医療と福祉分野において、組合員である住民と医療・介護の専門家が共に主体者となり、地域まるごとの健康づくりと平和な社会の実現を目指す文化を基盤としています。地域組合員と職員による「参加」と「協同」が特徴です。

参考：琉球文化アーカイブ、戸邊秀明方言論争再考

*方言論争については資料を参考に、作者の私見で書いています。

多くの研究がされています。ご了承ください。

読者投稿



鳥骨鶏 3 兄弟



完熟アダンの実

提供：Y・Fさん



インヒヨドリ

Toshi

オスは頭から胸、背、腰までが青藍色。メスは全体が灰褐色で、鱗様の模様が沢山あります。きれいな澄んだ声でさえずり、美声です。岩の上やコンクリート堤防の上などでさえずる姿をよく見ます。

理事会だより

第 6 回法人理事会が開催され次の事項が議決されました。

1、通知事項

① 2025 年 10 月の経営報告

2、報告承認事項

① 第 48 期第 10・11 回常務理事会報告

3、協議議決事項

- ① 2025 年度決算予想・資金繰り予想について
- ② 2026 年度活動方針・予算基調（1 次案）について
- ③ 第 48 期役員・事業所管理者・支部 3 役会議の開催について

4、その他の事項

① 2025 年 12 月～2026 年 1 月の日程の確認